

# 集義の星

しゅうぎのほし

～LOVE & JUSTICE～

本渡北小学校  
学校通信  
令和8年2月27日  
文責・木村純一

# 18

本渡北小HPは  
↓コチラ



## 育て！自治の力！ ～第2回児童総会～

2月26日木曜日6校時、第2回児童総会を開催しました。子どもたちの自治の力を育てる児童会活動です。私が一緒に過ごしてきたこの2年間だけでも、本渡北小児童会は素晴らしい進化を遂げました。そのことについては、「集義の星」第17号で、学校運営協議会の皆様が賞賛された出来事を記事にしましたが、今回あらためて児童会活動の1年間の集大成である第2回児童総会の様子を紹介します。

子どもたち、とてもがんばりました。この児童総会でも、リーディングDX、タブレット等を有効活用しました。しかし、駆使したのはタブレットだけではありません。自分たちの活動をわかりやすくプレゼンしたり、会場からの質問に的確に答えたり、とそれは従来必要とされてきた表現力やコミュニケーション力を十分に生かしたものでした。リーディングDXだけが生きてはたらくのではありません。確かに子どもたちのタイピングの力、必要に応じてプレゼンアプリや文書作成アプリを活用する力は飛躍的に伸びたと思います。しかし、ICTもひとつのツールとして活用し、表現力等、従前のスキルも十分身につけることこそが、子どもたちの生きる力を育むものであるとあらためて感じました。

新しいスキルと従前のスキルの融合を図りながら、令和7年度の児童会活動も、子どもの自治の力を育てる活動を展開しました。まず、令和7年度のスタートにあたっては、令和6年度の学年末から動きを始めました。2つあります。1つは、委員会活動が有効に展開するための委員会の再編成を行いました。さらに2つ目として、3月のうちに新年度の委員会の所属を決めました。これを行うことにより、新年度になって、新メンバーだけで年間スケジュールを考えるのではなく、1年間の反省を生かして新年度の計画を考えることが可能になりました。さらに、「北っ子掲示板」を作成し、各委員会からの連絡や周知が容易に行えるようにしました。さらに、「集義の星」第14号で紹介した、「ありがとうの便り」の取組です。それらの活動のすべてが、本渡北小児童会のさらなる進化の礎となったと思います。委員会活動は長い歴史の中で、やり尽くした感もあり、前例踏襲となる傾向もあります。だからなおさら先生たちと子どもたちが知恵を出し合い、ここまでの変化を加えたことは評価に値すると思っています。

令和8年度、歴代の6年生が作ってきた伝統の上に、現5年生が新しい伝統を積み上げます。更なる進化を目指しがんばってくれることを期待しています。

この進化の一翼を担っている、子どもたちへの進化を促しているのが本渡北小の先生たちです。陰となり、支えとなり、叱咤激励し、子どもたちのがんばりを、自己肯定感の向上へとつなげています。本当にステキな先生たちです。

卒業式の練習も始まりました。卒業式は6年間の集大成、1年後の5年生の姿であり、5年後の1年生の姿でもあります。みんなで卒業を祝いしたいと思います。

